

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

ダイコク電機株式会社
2021年2月10日(水)

2021年3月期 第3四半期 決算概要

前年同期比で減収減益となるが、販売管理費の削減により黒字を確保

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年同期比	増減率
売上高	27,101	17,907	△ 9,194	△ 33.9%
売上総利益	9,897	7,169	△ 2,728	△ 27.6%
販売管理費	8,086	6,654	△ 1,432	△ 17.7%
営業利益	1,811	514	△ 1,296	△ 71.6%
経常利益	1,985	831	△ 1,154	△ 58.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,277	519	△ 758	△ 59.3%

コロナ禍の影響で、情報システム・制御システム両事業ともに減収

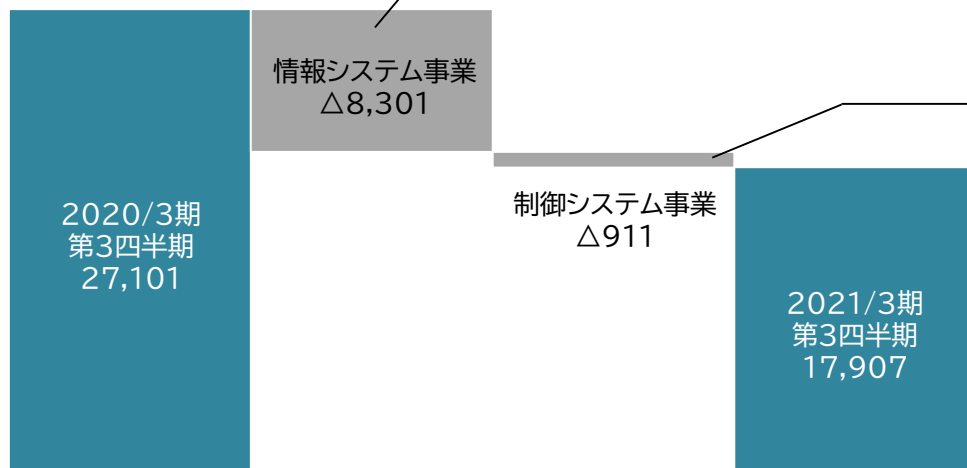
情報システム事業

売上高137億56百万円 →前年同期比 Δ 83億1百万円 (Δ 37.6%)

新型コロナウイルス感染症対策や、「遊タイム」搭載パチンコ遊技機に最適なデータ表示などの各提案により、10月以降はAIホールコンピュータ「X(カイ)」のシステムアップおよびファン向け情報端末の導入が順調に推移。

ただし、例年繁忙期となる年末商戦において、パチンコホールの新店計画や改装工事の多くが延期または中止になるなど、パチンコホール経営企業の設備投資は一転して慎重な姿勢となり、主要製品であるCRユニットやファン向け情報端末の販売は前年同期を下回る。

単位:百万円
(百万円未満切捨)



制御システム事業

売上高41億55百万円
→前年同期比 Δ 9億11百万円 (Δ 18.0%)

パチンコホールにおける稼動状況の回復鈍化により、各遊技機メーカーは新作タイトルの販売を延期し、市場全体のパチンコ遊技機販売台数は大きく減少。

部品販売は前年並みとなるも、表示ユニット、制御ユニットの販売が前年同期を下回る。

(注)セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

情報システム事業部の売上高減少に伴う売上総利益の減少により減益

情報システム事業

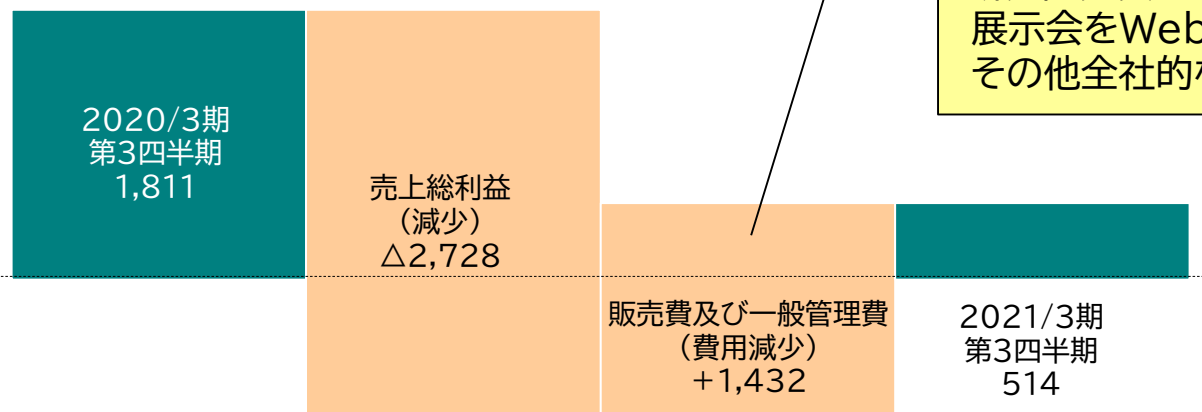
セグメント利益 16億98百万円 →前年同期比 Δ 15億64百万円 (Δ 47.9%)

制御システム事業

セグメント損失 85百万円 →前年同期比 Δ 5百万円 (前年同期はセグメント損失 80百万円)

※ 全社経費 10億98百万円 →前年同期比 Δ 272百万円 (Δ 19.8%)

単位:百万円
(百万円未満切捨)



■販売費及び一般管理費

→前年同期比 Δ 14億32百万円

研究開発費の第4四半期および来期へのずれ込み、展示会をWeb開催にしたことによる会場費の減少、その他全社的な経費削減への取組みを実施。

D/Eレシオ(有利子負債÷自己資本)は0.11と、十分な健全性を確保

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2020年3月期	2021年3月期 第3四半期	前期末比
流動資産	26,247	25,493	△ 753
固定資産	16,455	15,179	△ 1,275
資産合計	42,702	40,672	△ 2,029
流動負債	11,148	9,141	△ 2,006
固定負債	1,147	1,182	+ 35
負債合計	12,296	10,324	△ 1,971
純資産合計	30,406	30,348	△ 57
負債純資産合計	42,702	40,672	△ 2,029
有利子負債	3,300	3,300	±0
自己資本比率	71.2%	74.6%	+ 3.4%
D/Eレシオ	0.10	0.11	+0.01

■資産

展示会やセミナー開催の効果により、売掛金が大幅に増加するも、第2四半期までの業績が低調だったこともあり、受取手形や電子記録債権は減少。

また、大きな設備投資の自粛により減価償却費の計上が上回り、前期末比20億29百万円の減少。

■負債

仕入計画を綿密に行ったことによる仕入債務の減少、および経費削減による未払金などの減少により、前期末比19億71百万円の減少。

■純資産

中間配当金の支払いがあったが、第3四半期は比較的業績が好調に推移したため、前期末比57百万円の減少。

■自己資本比率

前期末比3.4ポイントの上昇。

2021年3月期 連結業績見通し

※2020年5月21日公表の業績見込数値から変更はありません

コロナ禍の影響は依然として不透明だが、通期見通しを据え置き

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2020/3期		2021/3期 見通し		前期比
	上期	通期	上期 (実績)	通期	
売上高	18,643	32,922	11,060	28,000	△ 4,922
売上総利益	6,682	12,040	4,332	10,500	△ 1,540
販売管理費	5,379	10,608	4,556	10,100	△ 508
営業利益	1,302	1,431	△ 224	400	△ 1,031
経常利益	1,421	1,674	△ 18	500	△ 1,174
親会社株主に帰属する当期純利益	912	1,061	△ 48	300	△ 761

研究開発費	713	1,170	426	753	△ 417
減価償却費	1,022	2,212	994	2,119	△ 93
設備投資	61	416	63	545	+ 128
ソフトウェア	468	1,136	300	845	△ 291

2021年3月期 セグメント別業績見通し

情報システム事業は減収減益だが、制御システム事業は増収増益を見込む

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2020/3期		2021/3期 見通し		前期比
	上期	通期	上期(実績)	通期	
情報システム事業	14,908	26,354	8,206	21,000	△ 5,354
制御システム事業	3,750	6,598	2,858	7,000	+ 402
セグメント売上高	18,658	32,953	11,064	28,000	△ 4,953
情報システム事業	2,309	3,104	540	1,700	△ 1,404
制御システム事業	△ 66	78	△ 5	600	+ 522
セグメント利益	2,243	3,183	535	2,300	△ 883
全社経費	△ 940	△ 1,751	△ 759	△ 1,900	△ 149
連結売上高	18,643	32,922	11,060	28,000	△ 4,922
連結営業利益	1,302	1,431	△ 224	400	△ 1,031

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

注 記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおり
ます。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されて
おります。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうる
ため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR担当

TEL 052-581-7111

E-MAIL xsomu@daikoku.co.jp